

歴史を感じる比企郡 嵐山町・小川町へ

イヤホン
ガイド付
抽選
企画

自然処「玉井屋」での昼食



氷竜頭

昼食には、関東灘の異名を持ったこの名醸造地で酒造りしている晴雲酒造の自然処「玉井屋」にて自家製の酒粕を使った晴雲漬けのお肉と、有機農法で有名な地元の野菜、狭山ブロックで取り組んでいる大豆工房「みや」のお豆腐が使われた氷竜頭などのお料理をいただきます。「玉井屋」の店長さんは生活クラブの組合員です。

埼玉県のほぼ中央に位置する比企郡に在る、和紙で有名な小川町を訪れます。「小川町は歴史がおもしろい」を出版された小川町図書館長・新田文子氏のお話を伺った後、ガイドさんと一緒に町を巡ります。

昭和11年建造の旧埼玉県製紙工業試験場が現在は小川和紙体験学習センターとなっており、2014年ユネスコ無形文化遺産に登録された伝統的な和紙すき作業を見学します。こちらには、当時の機材の一部が今も使用されています。国産の楮(こうぞ)だけを使って制作された和紙のみが江戸中期・紀州細川村に端を発する細川紙と呼ばれています。



木曾義仲の生誕地嵐山町(らんざんまち)

林学博士で「日本の公園の父」と言っている本多清六がこの地を訪れ、美しい景観が京都嵐山に似ている事から武蔵嵐山と言ったことが始まりでその後、町名に採用されました。鎌倉時代に活躍した武蔵武士・畠山重忠が館を構えたところと言われる国指定史跡の菅谷館跡や敷地内にある重忠、像埼玉県立嵐山史跡の博物館を見学いたします。

全国で4社のみ、関東唯一の鬼を祀る神社で菅谷館の鬼門に厄除けとして創建された鬼鎮(きぢん)神社は節分に「福は内・鬼は内・悪魔外」と唱え豆まきをするめずらしい社です。

杉山城跡 山城としては戦国期城郭の最高傑作の一つと云われる国指定史跡の杉山城跡、私有地ですがそのままの状態で一般の方に開放されていて、お隣の中学校の校庭からお邪魔します。(この中学校の校庭にある洗面所にS・K液体石鹼のボトルがありました)



旅行日

2022年10月28日(金)

旅行代金 (お一人様) 20,000円 募集人数 (最少催行人数10名様)



8:30新宿駅西口出発→関越自動車 嵐山・小川IC→○小川町図書館…
(徒歩)…小川まち歩き…(徒歩)…11:30自然処「玉井屋」にて昼食→
道の駅おがわまち→蒙ドーラージュ(カステラの紅葉堂直売所)→●嵐山
史跡の博物館(菅谷館跡)→○鬼鎮神社→○杉山城跡→関越自動車 嵐山・
小川IC→18:00頃新宿西口周辺着 食事:朝×・昼○・夕×

★本企画は抽選受付です。締切日:9月2日(金) 抽選結果は9月5日(月)以降、順次ご連絡します。

添乗員／同行します 食事／昼食1回
交通機関／大型または中型貸切バス(予定運行会社／オールスター観光等)
集合場所／新宿駅西口新宿センタービル前(予定) 集合時間／午前8時30分
ご案内／※スケジュールは天候状況、交通事情により日程の一部が変更される場合があります
※バス下車後は徒歩での行程が中心となりますので、歩きなれたしっかりした靴での参加をお願いします。
コース番号:11-8020-0016